



2021年1月29日

2020年度（2021年3月期） 第3四半期 決算説明資料

 株式会社 日立物流

HITACHI
Inspire the Next



I. 2020年度第3四半期 決算概要

全体概要、グループ別、四半期推移、新型コロナウイルス影響、
売上収益・営業利益増減内訳、海外地域別、受注・立上状況、協創

II. 中期経営計画 進捗

DX戦略、SSCV、CDP評価獲得



I .2020年度第3四半期 決算概要



2020年度第3四半期 決算概要

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%))

	2019年度		2020年度				
	第3四半期累計		第3四半期累計			通期	
	実績	実績	前年同期比		見通し (1.29時点)	前年比	
			比率	増減			
売上収益	5,105	4,745	93%	-360	6,400	95%	
営業利益 ^{※1}	<5.1> 259.0	<5.6> 265.8	103%	6.8	<5.3> 340.0	102%	
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前四半期利益)	<5.9> 301.4	<7.3> 346.2	115%	44.8	<6.6> 420.0	106%	
親会社株主に帰属する 四半期利益	<3.2> 162.5	<3.9> 187.4	115%	24.9	<3.4> 220.0	102%	
ROE	※2 9.5%	※2 13.0%	-	(+3.5%)	11.4%	(+1.9%)	

※1. 本資料中の営業利益は、「調整後営業利益」を記載

※2. 年換算

<当初計画からの増減>

売上収益 : ▲110億円

営業利益 : +25.0億円

EBIT : +34.5億円

当期利益 : +5.0億円



2020年度第3四半期 決算概要 (グループ別)

(単位：億円、端数四捨五入、()内は増減差)

		売上収益		営業利益		
		第3四半期累計	前年同期比	第3四半期累計	前年同期比	
オーガニック	国内物流	2,752	98%	176.0	100%	
	国際物流	海外	1,128	90%	63.1	130%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	216	89%	3.0	124%
	計	1,344	90%	66.1	130%	
	その他(物流周辺事業等)	119	85%	9.4	93%	
計		4,215	95%	251.5	106%	
バンテックグループ	国内物流	392	79%	15.5	63%	
	国際物流(海外)	211	88%	3.9	88%	
	計	603	82%	19.4	67%	
連結消去・バンテック顧客関連資産償却等		-73	(-2)	-5.2	(+2.3)	
合計	国内物流	3,129	95%	185.5	95%	
	国際物流	海外	1,311	89%	67.8	132%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	195	88%	3.0	124%
	計	32% 1,507	-1% 89%	27% 70.8	+6% 131%	
	その他(物流周辺事業等)	110	83%	9.4	93%	
計		4,745	93%	265.8	103%	

32% 内は国際物流比率



2020年度第3四半期 決算概要 (グループ別四半期推移)

物流は新領域へ

LOGISTEED

(単位：億円、端数四捨五入、()内は増減差)

			2020年度						
			第1四半期		第2四半期		第3四半期		
			実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	
売上 収益	オーガニック	国内物流	902	98%	917	97%	934	99%	
		国際物流	海外	321	74%	390	94%	417	102%
			国内会社計上分	66	79%	64	78%	85	114%
		計	387	75%	455	92%	502	104%	
		その他(物流周辺事業等)	39	89%	41	84%	39	83%	
	計	1,327	90%	1,412	95%	1,475	100%		
	バンテック グループ	国内物流	112	69%	129	77%	151	89%	
		国際物流(海外)	53	64%	73	90%	84	112%	
		計	166	68%	202	81%	235	96%	
	営業 利益	オーガニック	国内物流	62.9	116%	51.7	90%	61.5	95%
国際物流			海外	12.2	73%	24.5	144%	26.3	180%
			国内会社計上分	-1.2	(-1.6)	1.1	146%	3.1	236%
計			11.1	65%	25.7	144%	29.4	185%	
その他(物流周辺事業等)			1.7	40%	3.6	145%	4.1	120%	
計		75.6	100%	81.0	104%	94.9	113%		
バンテック グループ		国内物流	-3.5	(-8.5)	3.4	38%	15.7	146%	
		国際物流(海外)	-0.6	(-2.2)	2.2	137%	2.3	180%	
		計	-4.1	(-10.7)	5.5	54%	18.0	149%	



2020年度第3四半期 決算概要 (新型コロナウイルス影響)

物流は新領域へ

LOGISTEED

(単位：億円)

区分		2020年度								
		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計		
		売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	
オーガニック	国内	-32	-6.8	-24	-5.7	-14	-3.3	-70	-15.7	
	国際	北米	-33	-3.5	0	0.7	0	-0.0	-33	-2.8
		欧州	-25	-6.3	-10	-1.3	-6	-0.9	-41	-8.6
		アジア	-6	-1.5	-7	-0.6	-4	-0.4	-18	-2.5
		中国	3	1.4	0	0.6	1	1.1	4	3.2
		海外計	-61	-9.9	-17	-0.6	-9	-0.2	-88	-10.8
		VHF※	-9	-2.0	-7	-1.5	-3	-0.6	-19	-4.1
	その他	-2	-0.4	0	0.0	-2	-0.3	-5	-0.8	
小計	-104	-19.1	-49	-7.8	-28	-4.4	-181	-31.3		
バンテックグループ	国内	-33	-12.1	-19	-5.2	-6	-1.2	-58	-18.5	
	国際	-18	-2.9	-8	-2.0	-4	-1.3	-31	-6.2	
	小計	-52	-15.0	-27	-7.2	-11	-2.4	-89	-24.6	
合計 (単純合算値)		-156	-34.1	-76	-15.0	-39	-6.8	-270	-56.0	

※1 上記数値は事業ベースの概算値(IFRS組替(リース含む)影響及び一部の全社費用配分前)

※2 (株)日立物流バンテックフォワーディングの略称表記

連結損益計算書の、「その他の収益」に補助金等を約13億円計上、「その他の費用」に物流センター・車両の非稼働に伴う固定費等を約16億円計上



2020年度第3四半期 決算概要 (売上収益増減内訳)

売上収益実績

(億円)

5,105

新型コロナ
影響
▲270

- ・国内/その他 : ▲194億
- ・海外/フォーディング : ▲84億
- ・受託領域拡大 : +47億

環境変化・
物量増減他
▲231

19/3Q累計→20/3Q累計

- ・USD: ¥109 → ¥106
- ・EUR: ¥121 → ¥122
- ・CNY: ¥15.6 → ¥15.4

為替影響
▲25

- ・パレネット、東流通※
の連結化
- ・HTB※の非連結化等

ポートフォリオ
戦略実行
+2

新規受注
+141

- ・国内: +78億
- ・国際: +63億

協創新規
+24

+165

4,745

▲360

項目	新型コロナ 影響	環境変化・物量増減等			為替 影響	ポートフォリオ 戦略実行	新規 受注	協創 新規	計
		その他 物量増減他	受託領域 拡大	小計					
3Q 累計									
国内	▲128	▲184	36	▲148	24	78	20	▲154	
国際	▲138	▲84	11	▲73	▲25	63	4	▲184	
その他	▲5	▲10		▲10		▲8	1	▲22	
計	▲270	▲278	47	▲231	▲25	141	24	▲360	

2019年度3Q累計(実績)

2020年度3Q累計(実績)



2020年度第3四半期 決算概要 (営業利益増減内訳)

物流は新領域へ

LOGISTEED

営業利益実績

(億円)

259.0 **▲56.0**

新型コロナ
影響

- ・受託領域拡大 : +3.1億
 - ・コスト抑制 : +34.7億
 - ・戦略投資 : ▲0.7億
 - ・撤退等 : ▲5.7億
 - ・その他※ : ▲3.6億
- ※LCM▲7.3億・IFRS16仕訳影響▲5.3億含む

- ・VC21効果 : +10.3億
- ・収益性改善 : +9.1億

環境変化・
物量増減他
+27.8

為替影響
▲0.6

ポートフォリオ
戦略実行
▲1.7

- ・国内 : +11.3億
- ・国際 : +3.3億

新規受注
+14.5

協創新規
+3.3

生産性向上
+19.4

265.8

戦略投資額 : 3Q累計実績 19.8億円
(前年同期差 0.7億円増加)

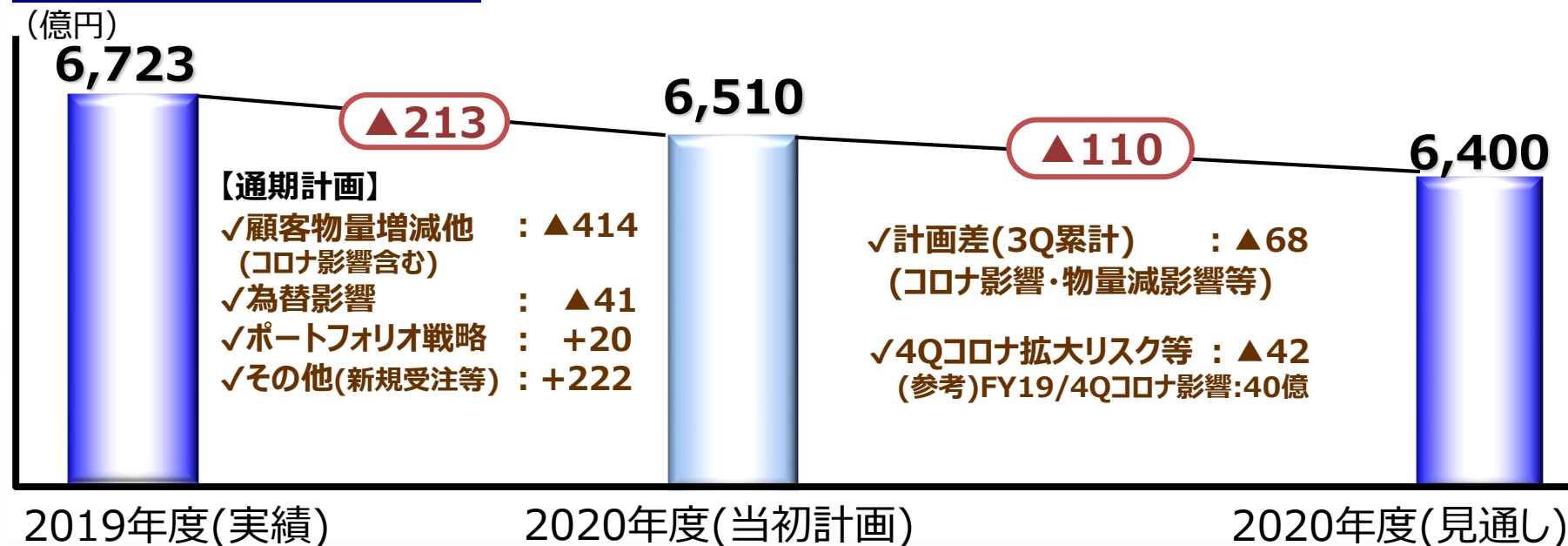
+6.8

2019年度3Q累計(実績)

2020年度3Q累計(実績)

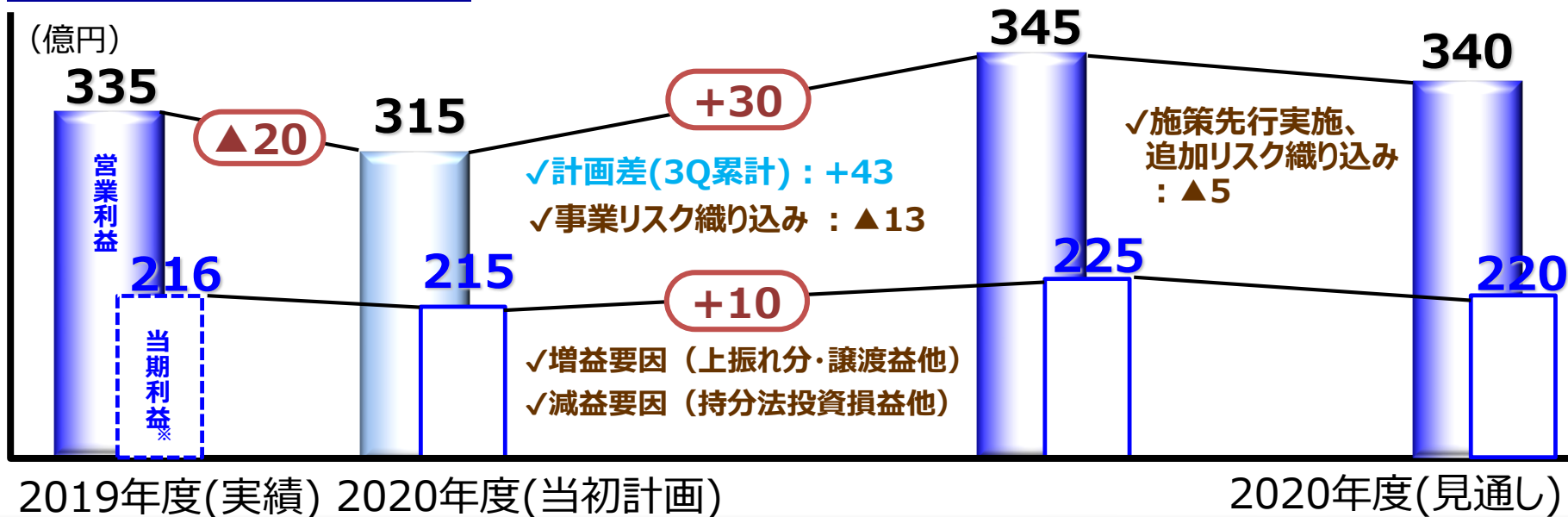
- ・3Q累計 (実績) : コロナ影響・物量減影響等により下振れて推移 (計画差▲68億円)
- ・通期 (見通し) : 3Qまでのトレンドとコロナ拡大リスク・半導体リスクを踏まえ、通期 (見通し) を下方修正 (▲110億円)

売上収益



- ・3Q累計 (実績) : 中国・北米を中心とした海外事業が計画を上振れて推移 (計画差+43億円)
- ・通期 (見通し) : コロナ拡大・半導体等の事業リスク他を織り込むも当初計画を上回ることが見込まれ上方修正 (+25億円)

営業利益・当期利益





2020年度第3四半期 決算概要 (海外地域別)

(単位：億円、端数四捨五入、()内は増減差)

項目	売上収益					営業利益				
	2020年度					2020年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第3四半期累計		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第3四半期累計	
	実績	実績	実績	実績	前年同期比	実績	実績	実績	実績	前年同期比
北米	67	110	115	291	91%	-2.9	6.5	4.5	8.0	80%
欧州 ^{※1}	118	164	171	453	91%	5.2	12.9	14.2	32.3	93%
アジア(中国除く)	78	85	99	263	87%	2.5	3.9	4.7	11.1	112%
中国	98	93	105	297	87%	5.6	5.3	6.8	17.7	1312%
オセアニア他	13	11	11	35	114%	0.9	1.5	1.4	3.8	187%
連結消去等 ^{※2}	-6	-9	-12	-28	(-3)	0.6	-3.5	-2.2	-5.1	(+1.5)
計	368	455	489	1,311	89%	11.8	26.6	29.4	67.8	132%

※1. トルコは欧州に含む

※2. バンテック顧客関連資産償却は連結消去等に含む



2020年度第3四半期 決算概要 (受注・立上状況)

2020年度3Q累計：受注・立上状況

(単位：件)

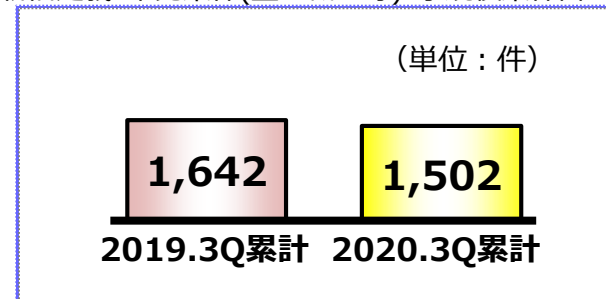
		2019年度	2020年度	
		第3四半期累計	第3四半期累計	前年同期増減
受注	国内	14	7	-7
	国際	5	9	4
	計	19	16	-3
立上	国内	15	12	-3
	国際	5	8	3
	計	20	20	0

(参考1)2020年度3Q主な立上案件

国内：【シューズ】物流センター運営
 【スポーツアパレル】物流センター運営
 国際：【衛生用品】輸送業務(アジア)
 【空調機器】欧州域内輸送業務

(参考2)国内本部受注件数の推移

<新旧定義・単発案件(重量機工等)・小規模案件含む>



2020年度3Q 新規案件 & 既存案件

■ 2020年度3Q新規案件

場所：福岡県
時期：2020年10月～



産業機器メーカー向け
倉庫運営

場所：中国
時期：2020年10月～



眼鏡メーカー向け倉庫運営

■ 既存継続案件

場所：大阪府
時期：2017年5月～



眼鏡メーカー向け
倉庫運営

場所：埼玉県
時期：2018年10月～



食品メーカー向け
倉庫運営

■ 2020年度3Q累計 新規寄与分

(単位:億円)

	売上収益	営業利益
国内	20	2.3
国際	4	0.8
その他	1	0.1
協創効果	24	3.3

通期計画に対する進捗率： 80% 83%

上記表にはAITとの協創効果を含む

**着実な新規案件の積み上げと
既存案件の継続的な運営による収益寄与**

参考資料 業態別実績 (概算値)

(単位：億円)

		2019年度 第3四半期累計			2020年度 第3四半期累計		
		売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率
	国内	2,819	172.3	6.1% (6.1%)	2,748	173.9	6.3% (6.4%)
	海外	598	39.9	6.7% (7.2%)	554	38.9	7.0% (7.5%)
3PL		3,417	212.2	6.2% (6.3%)	3,302	212.8	6.4% (6.6%)
	国内	220	2.9	1.3% (2.8%)	196	2.6	1.3% (3.0%)
	海外	522	2.2	0.4% (0.9%)	476	18.3	3.8% (4.2%)
フォワーディング		742	5.2	0.7% (1.5%)	673	20.8	3.1% (3.9%)
	国内	481	16.8	3.5% (4.8%)	383	9.4	2.4% (4.1%)
	海外	331	9.0	2.7% (2.9%)	276	11.2	4.1% (4.1%)
オート		812	25.8	3.2% (4.1%)	659	20.6	3.1% (4.1%)
その他サービス		134	15.9	11.1% (11.9%)	111	11.6	10.4% (10.4%)
合計		5,105	259.0	5.1%	4,745	265.7	5.6%

※ () 内は顧客関連資産償却費を除く



Ⅱ. 中期経営計画 進捗

■投資計画（キャッシュベース）

【中期経営計画（累計）】

1,530億円



戦略投資 860億円

- ☑ DXの推進、IT基盤構築
〔ビッグデータマネジメント導入
輸送デジタル 他〕
- ☑ 新技術開発
(R&D、事業化検証 他)
- ☑ 新事業開発
(スマートウェアハウス・SSCV 他)
- ☑ 人財・安全等
- ☑ M&A・資本政策他

☑ 累計投資額[※]（キャッシュベース） 投資残枠：700億超

・事業投資：360億

・戦略投資：300億（含むM&A・資本政策等：220億）

「パレネット」「日立物流東日本流通サービス」

「自己株式取得」「SSCV-Safety外販」等

※配当金を除くFY20見通し

LOGISTEED2021のゴールに向けて 地域・事業の領域を超えたエコシステム(経済圏)の形成・拡大

☑ 戦略投資

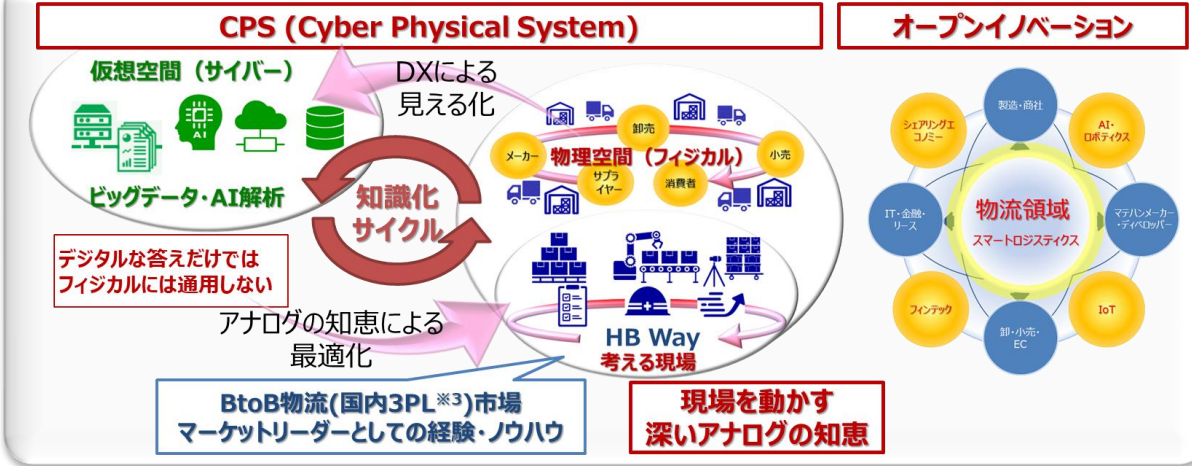
- ・ DX分野（SWH・SSCV・SCDOS他）
- ・ 海外事業（北米：トラック事業、インド：3PL事業）
- ・ 重量機工事業
- ・ フォワーディング事業
- ・ 環境投資（環境中長期目標）

自己株式・キャッシュの
機動的活用

■考え方：DX※1により見える化。アナログの知恵を加えてソリューションに転換し社会との共通価値を実現

【方針】CPS※2と協創による価値創造

(DX戦略の詳細は、当社Webサイトをご参照下さい。
<https://www.hitachi-transportssystem.com/jp/ir/corporate/vision/dx/>)



- ① 現場(フィジカル空間)にある多様なデータを収集
- ② ビッグデータをAI等により分析、知識化
- ③ 情報や価値を現場に投入

- ✓ さらなる現場力の強化
 - ✓ さまざまな協創パートナーとのオープンイノベーションの活性化
- 新事業や新ビジネスモデル創出**

【重点施策】

- **エクスターナルDX**
- ・SCDOS※4 (情報を可視化・分析・シミュレーション)
 - ・SWH※5 (自動化省人化・シェアリング・従量課金)
 - ・SSCV※6 (オープンな輸送デジタルプラットフォーム)

- **インターナルDX**
- ・デジタル事業基盤
 - ・基幹システム刷新
 - ・ポータルサイト構築
 - ・倉庫内デジタルPF
 - ・RPA※7導入推進

- DXを実現する組織づくり・人財
- ITガバナンスの強化 (ITガバナンスコード制定等)
- DX関連の投資継続
- KPIの設定・管理によるDX分野でのPDCAサイクルの確立

※1.Digital Transformation ※2.Cyber Physical System ※3.3rd Party Logistics ※4.Supply Chain Design & Optimization Services
 ※5.Smart Ware House ※6.Smart & Safety Connected Vehicle ※7.Robotic Process Automation

輸送事業を通じた、オープンなデジタルプラットフォーム(SSCVランド)を構築し、多様なパートナーとの協創により、社会課題の解決に貢献

事業継続のための課題の共有と解決



オープンなSSCVサービス提供

異業種との連携によるCSVの追求



データドリブンな新サービスの創出



(保健)



高齢化の進むドライバーが、安全で健康的に働くことができる体調管理と労務管理の実施

(教育)



個々人の運転データにもとづく、安全運転スキルの向上のためのコーチングと教育

(ジェンダー)



輸送業務のDX化による、女性ドライバーの活躍できる環境づくり

(エネルギー)



配送効率化と運転挙動の見える化による、エコドライブの推進、燃料使用量の削減

(成長・雇用)



輸配送DXによる、社会に不可欠な物流インフラの強靱化と、輸送事業者およびドライバーの地位向上に貢献

(イノベーション)



輸送事業のIoT技術で強靱なインフラの整備をはかり、さらに蓄積されるデータの利活用による産業化をめざす

(都市)



総合的なデジタルデータを活用した安全支援システムの普及による、事故のない都市、社会づくりの実現に貢献する

(気候変動)



輸配送の効率化(シェアリングや積載率向上)による、温室効果ガス排出量の削減

(実施手段)



オープンデジタルPFでの様々なビジネスパートナーとの協創によりエコシステムを形成、新たな社会価値・経済価値を創造する



CDP気候変動レポートで“リーダーシップレベル”の「A-(Aマイナス)」評価

1. CDP※1とは (概要・評価)

- CDPは国際的な非営利団体であり、気候変動や水セキュリティなどに対する企業の取り組みをグローバルに評価し公開
- 評価ランク：8段階 (最高位「A」～最低位「D-」)
- CDP気候変動レポート2020で、「A-」評価の日本企業は75社
＜陸運業としては当社のみ＞



※1 Carbon Disclosure Project

2. 環境関連の主な当社施策

- 事業戦略/財務計画・・・環境中長期目標の設定、SSCVの取り組み
- ガバナンス ……………気候関連課題の管理体制強化 (取締役会レベルを含む)
- リスクマネジメント ……………気候関連のリスク/機会を特定し、財務影響の試算や対応策を検討・実行
- CO₂排出削減取り組み・・・再生可能エネルギー利用拡大等の設備投資の推進 等



自己株式の活用



キャッシュの活用



SSCV

Smart & Safety Connected Vehicle

効率化

Smart

業務効率向上
法令遵守

Safety

安全運行管理
事故ゼロの社会

車両整備

Vehicle

車両整備の最適化
故障予兆・予防整備

フォワーディング 事業強化



SCDOS

Supply Chain Design & Optimization Services

日立物流が推進する
SCDOSのサプライチェーンデザイン

物流領域

スマートロジスティクス

シェアリング
エコミー

AI・
ロボティクス

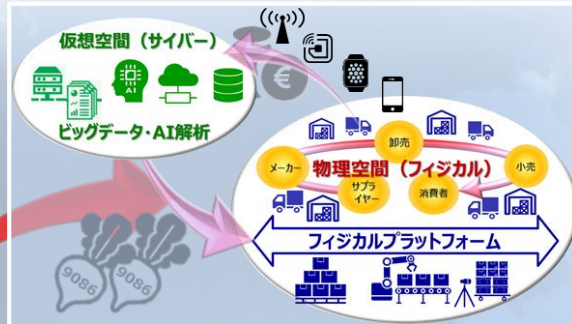
IT・金融・
リース

マテハンメーカー
・ディベロッパー

フィンテック

IoT

卸・小売・
EC



地域・事業の領域を超えたエコシステム（経済圏）の形成・拡大



2021年1月29日

2020年度（2021年3月期） 第3四半期 決算説明資料

 株式会社 日立物流

HITACHI
Inspire the Next



物流は新領域へ
LOGISTEED